

2019年度 第2回常任幹事会議事録

●日時

2019年6月8日(土)
15:00～17:00

●場所

阿佐ヶ谷美術専門学校 521教室

●出席者

秋元圭一 [会 長]
小山 弘 [事務長]
土橋洋一 [常 任]
三好耕之 [常 任]
西田一成 [常 任]
浜村圭一 [常 任]
白石龍子 [常 任]
小山優子 [常 任]
勝山昌幸 [常 任]
大野美菜子 [常 任]
藤原成理 [常 任]

●委任欠席者

桜井裕美 [常 任] 会長
大村政幸 [常 任]
松岡和彦 [常 任] 藤原
富澤和治 [常 任]
山田直毅 [常 任]
石井育美 [常 任] 小山ゆ

(幹事17/27名 定足数成立)

●議事進行:

小山 弘

●議事録

書記:川村芽衣 [学 生]
校正・制作・文責:秋元圭一、
勝山昌幸、藤原成理、
大村政幸、小山 弘

■議題1 選挙結果 (資料④「開票結果」参照)

秋元:齊藤有紀さんは研究科へ進んだため、3年卒業時の絵画科と研究科の幹事になっていて、それぞれの科で票数が入っており、両方足して10票で当選票数を上回っていたため、今回当選という形になった。新規で当選された佐藤和可子さんと齊藤有紀さんと石井育美さんの3名の方に、書面で当選の旨の連絡を入れました。

***選挙結果は全員挙手により常任幹事会として承認。**

■議題2 決算と予算案について (資料⑥～⑧参照)

・決算について

秋元:名簿管理の2万円オーバーは、名簿データを管理するソフト (FileMaker PRO) が古いバージョンで使えなくなっており、新しいバージョンを購入したため。

勝山:「寄付金等」の内容は何ですか?

秋元:まんが計画で小山さんと浜村さんが経費をカンパしてくれたので、寄付という形で計上した。

監査に出す際に前年のフォームを利用して上書きしたりしているため、表記に間違いがないかよく確認して最終的な書面にしたいと思っています。後々見たときに、もし表記の間違いなどがありましたら秋元か小山にご連絡ください。

***決算は全員挙手により常任幹事会として承認。**

・予算案について

秋元:毎年新しく追加される卒業生のデータの数値について、前回、前々回の予算案策定の際に「具体的に数値が出ていない」という指摘が松岡さんからあったので、今回は35,000円と記載した。

小山:まんが計画の予算は昨年度の数字を引き継いでいるが、アサビフェスタに出店してみてもどうかという案が出たため、+5万円という話だったと思うのですが、これは直さずにこのままでもいいかなとも思いましたが…

秋元:足しておきましょう。小山さんの方でそういう話になっていたということなので、まんが計画は15万円に+5万円で20万円に変更となります。

***予算案は1,230,000円で承認。**

■議題3 その他

・アサビ同窓会の今後について

勝山：SNSのSlackで、同窓会の活性化というチャンネルを作った。

今はアイデア出しの状況で、同窓会の活性化をはかるためには、

- ・具体的なイベントがあるときに賛同者を得る。
- ・Webのサイトをもっと活用したらいいのでは。
- ・企画を立ち上げてセグメントごとに活性化する。

前回まででこの3つが話に出た。それに対して小山さんから色々な面白いイベント案が出ましたので、それをWebに乗せて発信してみたらいいのではと思う。

具体的な企画は

- ・レトロボウリング大会
- ・野球盤大会
- ・うどんの自動販売機
- ・折りたたみ椅子を持ってスカイツリーの絶景箇所へ。
- ・制限を決めて展示会
- ・焼き物で一品

など、色々なアイデアを考えています。

(会員の自己紹介) コンテンツをホームページなどを作成してはどうか。ACVの「キタダイマユさん」の様な、面白い自己紹介のホームページなどを参考にできるのでは。イベントに参加した人もSlackに入れる様にしたら、そこから少しずつ膨らんでいくかもしれない。

小山：常任幹事の選挙を繰り返していくと、もしかしたら若い人が来なくなってしまうのではないか。だから年齢関係なく、くだらない様なことでもいいのではないか、やってみるべきなのではないかと思う。

秋元：学校でクラブ活動とかを昔はよくしていた。学校としての課外学習みたいなものがリンクしなくなっている。

小山：体を使ったり、一種の時間を色々な人と絡むということをあえてやるのって大事だと思う。実はそういう外れた様なことが許されなくなっている現状があるから、同窓会がやってもいいのではないか。

大野：SNSは見れるけど、通知が来たら見に行く場合だと、見ないとそのままわからなくなってしまう。Facebookとかならみんな他のことでもログインしているから、色々なところと連携して目に止まる様にしたり、Facebookのグループとかを利用したりしてイベントを立ち上げたりとか、どうやって周知させるかを詰めるといいと思う。

藤原：私も最初気がつかなくて見に行くまでわからなかったが、アプリケーションを入れて新規情報を告知される様に設定したら気づけるようになった。だから、PCだとスマホのアプリケーションを併用するとその問題は解決すると思う。

西田：SNSで新しい企画を見て、いいなと思ったとして、その企画を行うとしたらその分の予算も伴ってくる。予算案が提出された後から色々企画が入って来たときに、どうやってやっていくのかという問題が出て来てしまうのでは。幹事会の中で

できるサークルだったとして、自分たちでお金を出してやるとしても、どこかが許可を出さないと難しいのでは。

勝山：常任幹事会に提案する前に考えた案を、色々な人が見られるようにという考えです。新しい企画が出たらやはり幹事会で提案しなければならないので、その時は企画書や予算案をまとめる。今考えているのは来年のこと。

小山：去年から始めた企画決定会議はそのためにある。その会議を通過させないと予算は出ないので、常に幹事一人一人がメンバーを集めてキャスティングし、日程や予算などを決めて発表して承認を得てからお金が降りるので、急に企画が決まって急にお金を集めてやるということは実際にはない。

西田：少なくともそういった対応があるなら、今から勝山さんがそういうことをやってくれているのに、我々が何もできない状態になってしまうのは良くない。足並みが揃うよう体制的に今から考えたほうがいい。

秋元：何か企画が出て来た段階で、常任幹事会がどう対処したらいいのかというところで話をすればいいのでは。

西田：そういうことが起こったときに対応するのに、心構えがあったほうがいい。

勝山：このツールは、土台作りというのとイベントや何かの時に連絡網になったらいいなという二つだけなので、ぼちぼち使ってもらえたらいいと思う。

大野：企画決定会議にかける新企画を皆で出し合って交流会をする場合、イベントの誘いを見て、日にちはいつがいいかとかを話し合っ決めてたりする時に使うっていうイメージでいいですか？

勝山：そうです。

秋元：常任幹事会の話題になる手前の、小さな膨らみを作っておくという意味。だからそれに関しては同窓会がどうかという話ではなくて、ちょっと集まってお茶飲んだり食事したりするのと同じような形で輪を作っていくという考え方。

勝山：それをメールでやってしまうと一対一になってしまうので、みなさんがなるべく見れるところでやることで、「私もやるのかな」とか「それは違うよ」とか意見をもらえたりもするかもしれない。あくまでも下ごしらえ的な考え方。

浜村：企画を公募してもいい。

秋元：今あるアサビネットのWebとfacebookに、例えば何か火種が出た時にはアップして、少し間口を広げておくような形が取ればいい。

勝山：僕がいろいろな企画でこうしたらいいなと考えていると、松岡さんのやっているところの責任範囲と被ってしまう。この先の進め方が難しい。

大野：会議でふんわり形作りをして、それから松岡さんに渡せばうまく連携が取れるのではないか。

小山：常任幹事であればちょっとした企画も、人を集めて予算とスケジュールをきっちりすれば企画会議にかけてもいいと思う。かかる費用がそんなに高くなければ、多少予算から出していいのでは。やってみないとわからない。

浜村：石井さんが今回の選挙で一番票数が高いから、彼女を中心にやってみたら広がるのでは？

藤原：数字の高かった理由は同窓会長推薦だからです。彼女をいきなり中心にするのは負担になると思う。勝山さんが考えているのは、Slackで常任幹事や楽屋話などカテゴリーごとに制限を設けるということですか？

勝山：実は使いながら考えようと思っている。

藤原：勝山さんのイメージではSlackでできた企画を実際に告知するときはfacebookとかツイッターを使うって言うって言うので、Slackの方は内輪で温めていくのがメインなのかと聞いたらこれから考えるということだったので。

勝山：どのみちclosedな話だから限定される空間だけど、それでも常任幹事だけというくりでは狭いのかなと思う。

藤原：今は10名だけどこまで広げていいのとか、今いるメンバーが勝手に広げてしまっているのかどうか。

勝山：いいんじゃないですかね。

小山：限度はありますけど、いいと思います。

勝山：常任幹事会とアサビ同窓会に賛同してくれる方とか、それぐらいの範囲でいいんじゃないでしょうか。

小山：やってみて失敗したら閉鎖すればいいんですよ。

浜村：赤字をそのまま若い世代に渡すんじゃなくて、1千万円という金額を金庫番みたいに守りつつ下に渡していく、というイメージであれば公募してしまってもいいと思う。

秋元：使うことに対する権利ではなく、逆に言えば常任幹事会は維持を前提としたお金の使い方を考えていかないといけない。お金を使うことが前提ではない。

藤原：途中から入ってきた人にもSlackのアサビ活性化の件がわかるように、目的とか、これは企画会議にあげるための練り合いの場ですよ、みたいなものを宣言するものがまとめて表記されるといいのではないのでしょうか。

秋元：いきなりSlackを見て入ってくる人はその段階で趣旨を意識してくれていると考えれば、全く知らない人が入ってきて「ここってどんなところなの？」という状況にはならないのでは。

藤原：同窓会の幹事会で、企画決定会議に向けてというのは時間的な目標があるわけだから、Slackも目標となるスケジュールリングがある方がいいと思う。

土橋：少子化の傾向があるから、どうやっても予算は増えないと思う。増えない前提にしてみんなで話し合ってみて、アサビがどうなるかという話までしてみると、何か見えてくるのではないかと思う。学校自体の問題もそうだし、同窓会としての考え方や普段の生活の仕方によっても考え方が違うから、そういう人たちと若い活力のある人たちを交えて話をしてみると、何か出てくるのではないかと思う。

小山：少子化のこともそうだが、留学者数と同窓会の予算を対比させたグラフを見て、みんなこれからどうしていくかという機会も作りたいたいと思っている。だが間違いなく言えるのは少子化なので、場合によっては会費が減る可能性もあるし、アサビがうまく今を維持するとしても、同窓会の会費のことは考えておかないといけない。

土橋：僕らの若い時と全然違う。これからどうなるかわからないから、そういう問題も、若い人も年配の人も交えて話し合い、色々な意見を聞いてみるのも面白いかも。同窓会を維持していく会長さんも大変だと思うから、そういった立場もみんな考えながら色々な意見を出し合うのも大事だと思う。

小山：今あるお金も、いずれはどういう形で管理するのかを考えておかないといけない。学校に全額渡すのか、何人かで持っておくのか。

秋元：世代のブランクがないように、それぞれの人の考え方が意識されていない。今回の選挙で投票者の傾向を見てみると、顕著に見えた。甲斐さんが同窓会に関わってくれてから絵画科の意識が変わり、誰が入ってるかはわからないが、絵画科の幹事さんに票を入れている方が以前に比べて多くなった。同窓会の今までの過程を考えずにある若い人だけに票が集まったら、結果的に若い人だけで常任幹事をやる可能性もある。そうしたら古い人たちの考え方は飛んでしまう危険性もある。だから選挙のやり方も考えていかなければならないのではないかな。

西田：選挙の話ですが、今回の選挙で斎藤さんが合算で10票となりましたが、次の選挙の時も二つ枠は必要かどうか。どちらか一つに絞るべきでは？

秋元：今回の斎藤さんの票数の中で、一人で2票入れている人がいたが、そのうちの1票は削ってある。

西田：一人の人が二つの枠があるということが本当にいいのかどうか。合算するやり方でいいかどうか疑問に思う。

藤原：斎藤さんの名前の表記は1つで、研究科と絵画科の幹事でもあるということを示した方がフェアになると思う。今回はポスターを2枚出してるようなものだから、有利になっている。もし表記を1つにしても斎藤さんは10票取れたと思う。

秋元：同じ名前が仮に3つあっても合計での得票数となって、じゃあ実際に同窓会に関わってやらせてくださいと言ってくれたら、それは大歓迎していいと思う。

三好：同じ学科ばかり集まってしまうので、クラスごとに色分けしてみてもいいかな？

勝山：知り合いがいると参加しやすいのではないだろうか。

秋元：選挙に関してはこの先色々不都合も出てくる。これからも会議の中で話をし
て行って、少しでも現実的なものに導ければいいと思う。

勝山：最近は名簿データを見直すのですが、このデータに書く名前は「旧姓」の方
がいいのではないか。名前が変わった人は旧姓の方がわかりやすいのではと思う。

藤原：僕は併記ができるのであれば併記の方が個人的に理想。

勝山：「旧姓」と表記すればいいのか。

藤原：先ほどの土橋さんの意見に追加で、同窓会としてはアサビが今後どうなるか
まで考えていけると良いと思う。現在は同窓会独自で予算がとれるように企画を考
えたりしているが、それはなかなか難しく入学者からの予算でほとんどを運営して
いる。個人的にはアサビの認知度を高めて入学者が増えていくような活動に同窓会
が関われる良いと考えている。私は高校を訪問したりしているけれど、昔よりもア
サビを知らない人が多い。そのためそこに連携できるような同窓会の活動ができ
ると、相乗効果で学校の入学者が増え、同窓会の予算的にも良くなっていくと思う。

秋元：単純にいうとPR不足という感じですね。

藤原：学校の認知不足には同窓生が活動する際にアサビの名前を出してくれないと
いうこともあると思う。

秋元：大学の方が拡散力もあるし、アサビの認知度がそんなに高くないというのも
仕方ないのでは？

藤原：学校の規模が小さくてあまり知られていない面はあるが、同窓会も学校のこ
とには関係ないということではなくて、お互いに良くなっていくように活動してい
きたい。Slackではそういったことの見聞交換もやっていけたら良いと思う。

以上で議会は閉会した。

次回の開催予定：8月3日(土) 15:00～17:00「常任幹事会」

※その後、8月24日に変更となりました。

資料④ 「開票結果」

開票結果_190413

投票者総数=40 有効者総数=39 (無効=1) 得票総数=562 有効総数=546 無効総数=16

0		2 若井	4 伊藤	3 植野	1 高野	5 齊藤	
0	辞退	渡部	2 岸	0 村井	0 小島	0 徳武	
0		1 湯本	9 富澤	0 江良	継続	小高	
9 土橋		2 石井	1 奥田	2 松村	5 上野	2 渡邊	
4 竹島		1 小出	0 鴻巣	2 中村	2 大石	2 川上	
3 鳥飼		3 穴田	6 佐々	0 山岸	2 大貫	1 菊村	
0	辞退	西谷	1 高井	0 佐藤	1 土井	3 石川	
11 三好		10 桜井	0 土屋	8 佐藤	4 野田	2 志賀	
1 野田		1 斉藤	継続	山田	0 宮路	0 神田	
0		0 平野	0 金山	0 杉田	0	2 新谷	
2 木村		15 甲斐	0 西尾	2 石井	3 大石	4 大野	
13 西田		継続	大村	2 高橋	0 浅見	1 矢代	
0 平林		0 三上	4 西澤	0 高橋	6 喜多	1 横堀	
2 目須	0)	2 内藤	0 原	0 山崎	0 坂井	2 福田	
1 矢郷		3 元木	0 鈴木	0 日下	0 徳重	0 伊藤	
0 新井		継続	浜村	継続	軽込	0 古屋	
1 田中		9 松岡	13 藤原	2 中泉	4 芦部	継続	長船
0 小林		0 石川	5 田野	4 成瀬	5 生駒	1 小笠	
1 浅見		6 鈴木	0 山下	2 鈴木	0 高橋	5 下郡	
2 浜中		1 五野	3 大塚	3 仙名	1 齊藤	0 佐藤	
2 小川		1 高橋	4 柚賀	1 柳下	1 倉島	2 野村	
0 川口	0)	0 吉松	0 吉田	4 髭	2 忠地	0 上森	
1 石田		5 津田	0 出口	1 渡部	0 渡辺	0 酒井	
1 吉岡		辞退	小沢	0 川島	1 内田	1 加藤	
3 藤川		16 白石	辞退	井上	0 坂本	継続	荒木
2 塚本		1 千葉	0 川田	0 豊田	0 佐藤	1 酒井	
1 持丸		継続	石谷	1 関	0 依田	0 阿部	
0 北村		0 伊藤	辞退	白川	6 富澤	4 新井	
17 秋元		継続	小山	0 高田	1 田	2 竹澤	
0		継続	小山	0 近藤	3 中田	0 石垣	
2 小黒		3 矢野	7 大悟	0 寺澤	6 幸坂	0 宮崎	
1 岡村		継続	矢花	0 村山	3 佐藤	1 青山	
0 本多		継続	勝山	0 針生	0 中山	4 福田	
3 菊池		2 下枝	3 秦	0 福原	0 梶原	1 中島	
0 向井		3 永吉	1 串田	0 真柳	2 今村	1 谷矢	
辞退	松原	2 村松	1 山崎	0 和田	1 高石	1 櫻井	
0 山田		0 小川	0 本郷	0 眞実	2 櫻井	2 戸田	
0 東島		0 坂元	0 照屋	0 副島	2 河内	1 佐々	
0 青木		0 町田	1 山城	3 上杉	5 齊藤	2 高橋	
2 高梨		1 大串	0 佐藤	0 加藤	0 渡邊	1 坂本	
3 征矢		1 林	0 塚本	0 加藤	0 荒井	1 大隅	
継続	日野	0 宮川	2 加藤	0 三田	3 兼崎	0 杉田	
3 丹田		継続	大野	3 下地	6 植田	5 久末	
2 西山		12 角谷	0 平松	12 上杉	1 大輪	2 安田	
4 稲葉		4 長谷	4 落合	1 小久	0 金子	3 高柴	
1 伊藤		6 乙葉	0 中井	0	6 片寄		
辞退	青江	1 松本	3 松本	0 池田	1 川俣	23 石井	

キストを入力してください

〈当選者〉

土橋 ()、三 ()、西田 ()、秋元 ()、甲斐 ()、
 桜井 ()、松 ()、白石 ()、角谷 ()、富澤 ()、
 藤原 ()、佐藤 ()、上村 ()、齊藤 ()、石井 () 以上15名。

〈継続常任幹事の方〉

日野 ()、大村 ()、浜村 ()、石谷 ()、小山 ()、
 小山 ()、矢花 ()、勝山 ()、大野 ()、山田 ()、
 軽込 ()、小高 ()、荒木 ()、長船 () 以上14名。

〈任期満了の方〉

永吉 ()

